平成30年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月12日

上場会社名　株式会社インターアクション　　上場取引所　東
コード番号　7725　URL http://www.inter-action.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 木地 英雄
問合せ先責任者　(役職名) 代表取締役副社長　(氏名) 木地 伸雄　TEL 045-788-8373
四半期報告書提出予定日　平成30年1月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績 (平成29年6月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	2,592	5.6	325	23.5	319	35.0	168	△15.3
29年5月期第2四半期	2,455	△1.2	263	66.4	236	46.7	198	89.6

(注) 包括利益　30年5月期第2四半期　181百万円　(△2.3%)　29年5月期第2四半期　185百万円　(58.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	17.75	―
29年5月期第2四半期	20.89	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第2四半期	6,932	3,161	45.6	334.49
29年5月期	5,015	3,134	62.5	329.71

(参考) 自己資本　30年5月期第2四半期　3,161百万円　29年5月期　3,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	―	0.00	―	12.00	12.00
30年5月期	―	0.00			
30年5月期 (予想)			―	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

平成29年5月期　期末配当金の内訳　普通配当10円　記念配当2円

3. 平成30年 5月期の連結業績予想 (平成29年 6月 1日～平成30年 5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,980	△7.2	566	30.0	505	21.1	420	6.5	44.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

(注) 信託が所有する当社株式を含む自己株式数を控除した期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期2Q	10,052,100 株	29年5月期	10,052,100 株
② 期末自己株式数	30年5月期2Q	600,728 株	29年5月期	545,428 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期2Q	9,469,780 株	29年5月期2Q	9,495,476 株

（注）当社は、株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員株式報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性がございます。業績予想に関する事項は［添付資料］3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動） …… 9
（セグメント情報） …… 9
３．平成30年５月期第２四半期決算短信（連結）補足説明 …… 11
（１）受注実績の状況 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高2,592百万円（前年同期の売上高2,455百万円に比し、5.6％の増加）となり、売上総利益は1,152百万円（前年同期の売上総利益953百万円に比し、20.9％の増加）となりました。また、営業利益は325百万円（前年同期の営業利益263百万円に比し、23.5％の増加）、経常利益は319百万円（前年同期の経常利益236百万円に比し、35.0％の増加）となり、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は168百万円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益198百万円に比し、15.3％の減少）となりました。法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比で減少した理由は、当第２四半期連結累計期間において、株式会社東京テクニカルの全株式を取得したことに伴う仲介手数料等、連結固有の費用が多額に発生したため表面税率が高くなりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

（IoT関連事業）

当社の主要販売先である半導体メーカーにおきまして、スマートフォンやタブレット端末向けイメージセンサの販売数が増加したことにより、積極的な設備投資が行われました。このような状況のなか、当社の主要製品でありますＣＣＤ及びＣ-ＭＯＳイメージセンサ向け検査用光源装置及び瞳モジュールの販売は好調に推移いたしました。

当第２四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は1,254百万円（前年同期の売上高701百万円に比し、78.9％の増加）、セグメント利益は663百万円（前年同期のセグメント利益376百万円に比し、76.0％の増加）となりました。

（環境エネルギー事業）

当セグメントの主要販売先である印刷機器メーカーにおける設備投資の減少等により売上高は減少したものの、前第３四半期連結累計期間に不採算事業でありました再生可能エネルギー事業から撤退をしたことによって、セグメント利益は改善いたしました。

当第２四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は478百万円（前年同期の売上高838百万円に比し、42.9％の減少）、セグメント利益は43百万円（前年同期のセグメント利益22百万円に比し、92.1％の増加）となりました。

（インダストリー4.0推進事業）

精密除振装置の販売先である海外液晶パネルメーカーの設備投資意欲は中長期には堅調に推移すると予想しておりますが、新設工場建設の端境期と重なり当第２四半期連結累計期間におきましては、当該売上は、減収となりました。また、セグメント利益につきましても、企業取得関連費用並びに新製品の開発費用等の計上により前年同期に比べ大幅な減少となりました。

当第２四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は859百万円（前年同期の売上高915百万円に比し、6.1％の減少）、セグメント損失は100百万円（前年同期のセグメント利益130百万円に比し、231百万円の減少）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,916百万円（うち、新連結子会社の増加分1,388百万円）増加し、6,932百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,477百万円（同965百万円）増加し、5,619百万円となりました。これは、現金及び預金が523百万円（同657百万円）、受取手形及び売掛金が296百万円（同135百万円）、たな卸資産が629百万円（同155百万円）それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ439百万円（同422百万円）増加し、1,312百万円となりました。これは、連結子会社の増加等により、有形固定資産（純額）が204百万円（同174百万円）、のれんが203百万円（同219百万円）それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第２四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,889百万円（同740百万円）増加し、3,770百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が370百万円（同150百万円）、未払法人税等が132百万円（同６百万円）それぞれ増加し、１年内を含む社債及び借入金が1,135百万円（同533百万円）純増したこと等によるものであります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、3,161百万円となりました。これは、前事業年度の期末配当金114百万円及び自己株式の増加39百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益168百万円の計上及び為替換算調整勘定の増加12百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ124百万円増加し、2,060百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは77百万円の収入（前年同期は385百万円の支出）となりました。これは、たな卸資産の増加480百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益317百万円の計上及び仕入債務の増加217百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは313百万円の支出（前年同期は140百万円の支出）となりました。これは、新規連結子会社の株式取得による支出426百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは365百万円の収入（前年同期は107百万円の収入）となりました。これは、配当金の支払額113百万円があったものの、短期及び長期の借入れによる純収入が241百万円、社債による純収入が280百万円あったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成29年７月12日公表時より変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成29年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成29年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,945,384	2,469,133
受取手形及び売掛金	1,425,152	1,721,279
営業投資有価証券	69,469	67,618
商品及び製品	23,913	71,657
仕掛品	290,351	719,848
原材料及び貯蔵品	223,123	375,207
その他	175,070	221,955
貸倒引当金	△10,217	△26,968
流動資産合計	4,142,247	5,619,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	221,788	309,033
土地	105,002	169,901
その他（純額）	118,596	170,791
有形固定資産合計	445,386	649,726
無形固定資産		
のれん	243,057	446,867
その他	57,748	52,705
無形固定資産合計	300,806	499,573
投資その他の資産		
投資有価証券	233,642	253,262
その他	152,334	166,084
貸倒引当金	△259,214	△256,281
投資その他の資産合計	126,763	163,066
固定資産合計	872,956	1,312,366
資産合計	5,015,203	6,932,098
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	495,596	866,524
短期借入金	200,000	160,000
1年内償還予定の社債	40,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	212,016	535,606
未払法人税等	67,785	200,350
製品保証引当金	4,801	28,569
役員株式給付引当金	41,904	74,006
その他	195,511	375,356
流動負債合計	1,257,615	2,340,413
固定負債		
社債	30,000	250,000
長期借入金	475,315	1,046,759
株式給付引当金	2,055	1,948
退職給付に係る負債	81,998	79,263
資産除去債務	10,133	10,136
その他	23,684	42,168
固定負債合計	623,186	1,430,276
負債合計	1,880,801	3,770,689

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成29年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成29年11月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,982	610,982
資本剰余金	1,513,063	1,513,063
利益剰余金	1,232,357	1,285,867
自己株式	△220,127	△260,005
株主資本合計	3,136,276	3,149,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	436
為替換算調整勘定	△1,875	11,063
その他の包括利益累計額合計	△1,875	11,500
純資産合計	3,134,401	3,161,408
負債純資産合計	5,015,203	6,932,098

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成28年６月１日 至　平成28年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成29年６月１日 至　平成29年11月30日）
売上高	2,455,153	2,592,840
売上原価	1,501,720	1,439,996
売上総利益	953,432	1,152,844
販売費及び一般管理費	690,231	827,757
営業利益	263,201	325,087
営業外収益		
受取利息	256	253
受取配当金	0	100
貸与資産賃貸料	4,907	5,108
為替差益	－	4,484
持分法による投資利益	1,686	2,488
補助金収入	6,481	－
その他	8,918	2,750
営業外収益合計	22,250	15,184
営業外費用		
支払利息	12,973	8,183
貸与資産諸費用	8,238	6,124
為替差損	23,783	－
社債発行費	－	4,824
その他	3,946	1,953
営業外費用合計	48,941	21,086
経常利益	236,510	319,186
特別損失		
固定資産除却損	110	864
固定資産売却損	509	922
特別損失合計	619	1,787
税金等調整前四半期純利益	235,891	317,398
法人税、住民税及び事業税	52,333	154,309
法人税等調整額	△14,791	△5,011
法人税等合計	37,542	149,298
四半期純利益	198,349	168,100
親会社株主に帰属する四半期純利益	198,349	168,100

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成28年６月１日 至　平成28年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成29年６月１日 至　平成29年11月30日）
四半期純利益	198,349	168,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	436
為替換算調整勘定	△11,999	12,496
持分法適用会社に対する持分相当額	△611	442
その他の包括利益合計	△12,611	13,375
四半期包括利益	185,737	181,475
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,737	181,475
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成28年６月１日 至　平成28年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成29年６月１日 至　平成29年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	235,891	317,398
減価償却費	28,924	44,660
のれん償却額	28,273	21,290
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,119	6,082
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△2,885	21,734
株式給付引当金の増減額（△は減少）	318	△106
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	23,702	32,102
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	5,841	△2,740
受取利息及び受取配当金	△257	△353
支払利息及び保証料	13,815	8,865
為替差損益（△は益）	△483	△749
有形固定資産除却損	110	864
有形固定資産売却損益（△は益）	509	922
たな卸資産評価損	6,932	6,655
売上債権の増減額（△は増加）	△289,132	△93,840
たな卸資産の増減額（△は増加）	△551,706	△480,026
営業投資有価証券の増減額（△は増加）	9,526	1,851
仕入債務の増減額（△は減少）	201,424	217,952
その他	△58,809	17,080
小計	△343,885	119,645
利息及び配当金の受取額	257	556
利息及び保証料の支払額	△13,464	△7,909
法人税等の支払額	△27,945	△34,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	△385,038	77,797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△11,696
定期預金の払戻による収入	27,000	－
有形固定資産の取得による支出	△51,831	△50,232
有形固定資産の売却による収入	1,275	2,297
無形固定資産の取得による支出	△29,487	△2,023
敷金の差入による支出	△33,997	△3,999
敷金の回収による収入	－	17
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△426,334
事業譲受による支出	△53,250	－
保険積立金の解約による収入	－	178,836
その他の支出	△345	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,636	△313,135
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	379,868	△60,000
長期借入れによる収入	100,000	520,000
長期借入金の返済による支出	△202,551	△218,153
社債の発行による収入	－	300,000
社債の償還による支出	△30,000	△20,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,854	△2,351
自己株式の取得による支出	△78,770	△39,878
配当金の支払額	△58,571	△113,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	107,120	365,690
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,118	△5,661
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△424,672	124,691
現金及び現金同等物の期首残高	2,444,757	1,935,380
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,020,085	2,060,072

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第１四半期連結会計期間において、株式会社東京テクニカルの全株式を取得したため、同社及び同社の子会社であるTaiwan Tokyo Technical Instruments Corp.を連結の範囲に含めております。

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成28年６月１日　至　平成28年11月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー４．０推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	701,483	838,461	915,208	2,455,153
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	701,483	838,461	915,208	2,455,153
セグメント利益	376,899	22,659	130,775	530,334

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	530,334
全社費用（注）	△260,200
たな卸資産の調整額	△6,932
四半期連結損益計算書の営業利益	263,201

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成29年６月１日　至　平成29年11月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー４．０推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,254,690	478,530	859,620	2,592,840
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	1,254,690	478,530	859,620	2,592,840
セグメント利益又は損失（△）	663,287	43,517	△100,501	606,304

（注）当第２四半期連結累計期間において、歯車試験機の企画・設計・製造販売を行う株式会社東京テクニカルの全株式を取得したため、同社及び同社の子会社であるTaiwan Tokyo Technical Instruments Corp.を連結子会社としております。

当第２四半期連結累計期間の「インダストリー4.0推進事業」セグメントに含まれる同社及び同子会社の売上高は159,389千円、セグメント損失は81,256千円であります。また、セグメント資産は1,388,369千円増加しております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	606,304
全社費用（注）	△274,561
たな卸資産の調整額	△6,655
四半期連結損益計算書の営業利益	325,087

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

第１四半期連結累計期間において、株式会社東京テクニカル及び同社の子会社であるTaiwan Tokyo Technical Instruments Corp.を連結子会社としたことに伴い、「インダストリー4.0推進事業」セグメントにおいて225,100千円ののれんを計上しております。

３．平成30年５月期第２四半期決算短信（連結）補足説明

（１）受注実績の状況

受注実績

セグメントの名称	前第２四半期連結累計期間（自 平成28年６月１日 至 平成28年11月30日）		当第２四半期連結累計期間（自 平成29年６月１日 至 平成29年11月30日）		増減	
	受注高（千円）	受注残高（千円）	受注高（千円）	受注残高（千円）	受注高（千円）	受注残高（千円）
IoT関連事業	797,632	335,319	1,548,812	731,745	751,180	396,426
環境エネルギー事業	820,943	594,903	651,724	543,101	△169,219	△51,802
インダストリー４．０推進事業	1,282,578	398,836	934,239	262,017	△348,339	△136,819
合計	2,901,153	1,329,058	3,134,776	1,536,864	233,623	207,806

（注）１．金額には、消費税等は含まれておりません。

２．上記金額には、見込み生産を行っているオラソニック事業（インダストリー4.0推進事業セグメント）は含まれておりません。